

生伴奏で歌いま専科

～愛唱歌～

年末スペシャル
2018年



杜のホールはしもと
8F (多目的室)

12月19日(水)

10:30～15:00

(11:50～12:50 昼食休憩)

◇開場 9:50 参加費: 1000 円

～入退場自由～

～歌詞集を貸し出し致します《無料》～

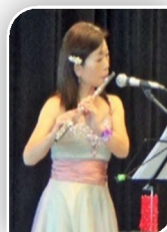
(当日、直接会場へお越しください)

定員: 先着140名

キーボード (高橋由香子)



フルート (小宮里美)



ベース (岡民也)



《歌のリーダー》

(小泉勝男)



《このあとの予定 2019 年》

◇愛唱歌 2月 9日(土) 10:00～11:40

◇歌謡曲 3月 15日(金) 13:00～15:00

☆10:30～11:50 「生伴奏で歌いま専科」午前の部

☆11:50～12:50 昼食休憩 (会場内で持ち込みでの飲食できます。)

～お弁当の注文をお受け致します。ラ・ターブル特製弁当 650 円 ☎042-761-6694 (神保)～

☆12:50～13:40

スペシャルコーナー

◇お楽しみ抽選会

◇フラダンス (アロハ・フラ西村)



☆13:40～15:00 「生伴奏で歌いま専科」午後の部



オープニング クリスマスソングメドレー

相模原市文化財団
情報紙 MoVe

11月15日号に
掲載されます

《歌詞集掲載曲》 歌詞集の中からのリクエスト曲を皆さんと一緒に歌っていただきます。

青い山脈 あの素晴らしい愛をもう一度 いつでも君は 母さんの歌 学生時代 川の流れるように 北国の春 希望 五番街マリーヘ 四季の歌
下町の太陽 時代 昂 青春時代 翼をください 長崎の鐘 ふるさと 有楽町で逢いましょう 忘れな草をあなたに わたしの城下町 憧れのハワ
イ航路 朧月夜 悲しくてやりきれない 切手のない贈り物 荒城の月 この広い野原いっぱい 湖畔の宿 知床旅情 瀬戸の花嫁 早春賦 旅人よ
月の沙漠 つぐない てんとう虫のサンバ 東京ラブソフィー 涙そうそう 花(春のうらら・・) パラが咲いた 港が見える丘 山小屋の灯 朝はど
こから あざみの歌 あめふり 五木の子守唄 梅干の歌 おさななじみ 想い出の渚 銀座の恋の物語 恋の季節 高校三年生 静かな湖畔
小さなスナック 茶摘み 月見草の花 手のひらを太陽に 夏の思い出 夏は来ぬ 野に咲く花のように 芭蕉布 花(川は流れて) 浜辺の歌 故郷を
離る歌 牧場の朝 街の灯り 真つ赤な太陽 見上げてごらん夜の星を 湯の町エレジー 別れのブルース 赤い花白い花 アカシアの雨が止むとき
異邦人 おまえに 秋桜(コスモス) サンタルチア シクラメンのかほり 上海帰りのリル 小さい秋みつけた 遠い世界に 時の流れに身をまかせ
22歳の別れ 野菊 遥かな友へ 久しき昔 ビリーブ 星影のワルツ もしもピアノが弾けたなら 紅葉 旅愁 風 悲しき口笛 神田川 北上夜
曲 北の宿から 銀色の道 心の窓に灯を 古城 さくら貝の歌 さざんかの宿 寒い朝 新雪 戦争を知らない子供たち 灯台守 トロイカ
なごり雪 南国土佐を後にして 琵琶湖周航の歌 山のロザリア 雪の降る街を いい日旅立ち 祝い船 上を向いて歩こう 贈る言葉 ひびり
かえり船 さよならをするため 少年時代 白い花の咲く頃 世界は二人のために 誰か故郷を想わざる 涙くさよなら 花のメルヘン 塙生の宿
真夜中のギター みかんの花咲く丘 椰子の実 山の煙 夜明けの歌 若者たち 愛燦々 青葉城恋歌 乾杯 今日の日はさようなら 高原列車は行
く 故郷の人々(スワニー河)ここに幸あり 白いブランコ 人生いろいろ 惜別の歌 卒業写真 太陽がくれた季節 津軽海峡冬景色 花の首飾り
花の街 また逢う日まで 水色のワルツ 未来へ よろこびも悲しみも幾年月 リンゴの歌 赤とんぼ いつでも夢を 宇宙戦艦ヤマト 海
おゝスザンナ 希望のささやき 君といつまでも 銀座カンカン娘 さくら(森山直太郎)里の秋 スキー 空よ 旅立ちの日に 誰もいない海 手紙
遠くへ行きたい 時計台の鐘 庭の干草 花のまわりで 花は咲く パラ色の雲 春の日の花と輝く 春よ、来い 冬景色 冬の星座 ブルーシャトー
星の界 南の島のハメハメハ大王 虫の声 村祭り 森の水車 森へ行きましょう 夢路より よろこびの歌 ローレライ 我は海の子

＜お問い合わせ＞ 090-7235-6021 (高橋)
042-761-6694 (神保)



主催: アダージョ
「大沢みんみんの館(いえ)」運営団体